

以語料庫為本之同語素形容詞「X i」與動詞「X mu」的 用法和語意：以「いたい」「いたむ」為例

賴錦雀

東吳大學日本語文學系教授

摘要

本研究屬於具有同詞根之形容詞「X い」及其派生動詞「X む」的日本語學基礎研究。詞彙考察方面，首先從字典和詞彙調查的詞彙表收集了「X い/X む」的詞組，再檢視其詞彙分類和日語能力檢定詞彙的級別。語法考察方面則檢視了「X い/X む」的連體修飾用法、謂語用法以及格支配。最後，以「いたい/いたむ」為對象進行個案研究，分析了「いたい/いたむ」的句型和語意。形容詞「X い」及其派生動詞「X む」雖然擁有相同的詞根，但是其詞彙分類和句型有些不同，而且語意擴展模式也可見差異。因此，日語教育現場之指導必須多加留意。

關鍵詞：同詞根，形容詞「X い」，派生動詞「X む」，用法，語意

受理日期：2025 年 08 月 21 日

通過日期：2025 年 11 月 07 日

DOI：10.29758/TWRYJYSB.202512_(45).0007

**Corpus-based analysis of the usage and meaning of the
adjectives "Xi" and the verbs "Xmu" with the same root:
Using "itai" "itamu" as an Example**

Lai, Jiin-Chiueh

Professor, Soochow University, Taiwan

Abstract

This study is part of a basic Japanese linguistics study on the adjective "Xi" and its derived verb "Xmu", which share the same root. For the lexical study, I collected the word pair "Xi/Xmu" from dictionary and vocabulary survey list, and then checked its lexical classification and level in Japanese-Language Proficiency Test. For the grammatical study, I considered the attributive modifier usage, sentence-final predicate usage, and case dominance of "Xi/Xmu". Finally, as a case study, I analyzed the sentence structure and meaning of "itai/itamu." Even though they share the same root, the adjective "Xi" and its derived verb "Xmu" can have different lexical classifications and sentence patterns, and their semantic extension patterns are also different. Therefore, Japanese language education requires innovative teaching methods.

Keywords: same root, adjective "Xi", derived verb "Xmu", usage,
meaning.

コーパスから見る同語根をもつ
形容詞「X い」と動詞「X む」の用法と意味
—「いたい」「いたむ」を例に—

頼 錦 雀

東呉大学日本語文学系教授

要 旨

本研究は同語根をもつ形容詞「X い」とその派生動詞「X む」に関する日本語学基礎研究の一環である。語彙的考察では辞書と語彙調査語彙表から「X い/X む」の語対を採集した後、語彙分類と日本語能力試験における級別をチェックした。文法的考察では「X い/X む」の連体修飾用法、文末述語用法、格支配を考えた。そして、ケーススタディとして、「いたい/いたむ」の文型と意味を分析した。語根が同じでも形容詞「X い」とその派生動詞「X む」は語彙分類と文型に違いがあり、意味拡張のパターンも異なる。よって、日本語教育現場における指導を工夫すべきである。

キーワード：同語根、形容詞「X い」、派生動詞「X む」、用法、
意味

コーパスから見る同語根をもつ
形容詞「Xい」と動詞「Xむ」の用法と意味
—「いたい」「いたむ」を例に—

頼 錦 雀

東呉大学日本語文学系教授

1. はじめに

現代日本語において次の例文で見られる「惜しい/惜しむ、楽しい/楽しむ、懐かしい/懐かしむ、憎い/憎む、白い/白む」のような同語根¹の「形容詞（Xい）vs.動詞（Xむ）」の語対がある。

(1a)心を癒す暇も、身体を休める時間も、いまは惜しい。(真田真音『傷』BCCWJ)

(1b)「(前略)別れを惜しまなければならんな」近藤にしては珍しい皮肉だ。「別れを惜しむほどのことはない。(後略)(峰隆一郎『土方歳三』BCCWJ)

(2a)彼女は笑った。彼女を笑わせるのはとても楽しかった。私にだってまだ女の子を笑わせることはできるのだ。(村上春樹『ハードボイルド・ワンダーランド』。新潮文庫 の 100 冊)

(2b)私の書こうとしていた小説の主題は、漸くその日その日を楽しむことが出来るようになったこんな田舎暮らしの中では、いよいよ無意味なものに思われて来た。(堀辰雄『風立ちぬ・美しい村』新潮文庫の 100 冊)

(3a)書斎の硝子戸から冬に入って稀に見るような懐かしい和らかな日光が机掛の上に射していた。(夏目漱石『こころ 上』新潮文庫の 100 冊)

(3b)「頼央さんか。いやあ、有名な絵描きさんになってしまった人の

¹ 言語学における単語の基本的な構成要素を指す言葉には語根、語基、語幹という用語があるが、単語のもっとも基本的な意味を持つ部分は「語根」、語を形成する際、接辞が付く基礎となる意味の中心的部分は「語基」、語基から活用する接辞を除いた部分は「語幹」である。本論文では「Xい」「Xむ」における「X」を語根と呼ぶ。

悪口は言いたくないが、あの人には手を焼いた」玄関の間にあぐらをかき、太い指で煙草をつまみながら木下は昔を懐かしむように眼を細めた。(筒井康隆『エディプスの恋人』新潮文庫の100冊)

- (4a)父については、むしろ怒りの感情が強い。生母をだました憎い男である。(陳舜臣『クリコフの思い出』BCCWJ)
- (4b)机の上で生みだされた彼の美しい計算値を乱す無礼きわまりない不確定要素を、彼は憎む。(村上春樹『海辺のカフカ』BCCWJ)
- (5a)一月の半ば、理子は白い雄猫、ファナックだけを連れてニューヨークへ戻って行った。(白川道『流星たちの宴』BCCWJ)
- (5b)昼を焼いて父に怒鳴られても、やはり東の空が白む前に浜へ行かねばならなかった。(上家富靖『一番大きなお星さん』BCCWJ)

このような同語根の「形容詞(～い) vs. 動詞(～む)」の語対は時には同じ華語か中国語に訳されるので、母語が華語か中国語である日本語学習者にとっては学習困難点になることが考えられる。

- (6a) 頭が痛い/頭疼。傷が痛む/傷疼。(大連外国語学院編集 1982『新日漢辞典』)
- (6b) 頭が痛い/頭疼。傷が痛む/傷疼。(陳伯陶 1992『新時代日漢辞典』)
- (6c) 腹が痛い/肚子疼。歯がひどく痛む/牙疼極了。(劉元孝主編 1989『永大當代日華辭典』)

本研究ではコーパスに基づいて、同じ語根をもつ形容詞「～い」と動詞「～む」の用法と意味を考察し、その異同点を明らかにするのが目的である。

2. 先行研究と本研究の立場

2.1 語譜から見る単語家族の形容詞と派生動詞

単語の家族について考察する場合、音節数(1音節語「ひ、き、

は」、2音節語「かわ、やま、たに」など）、漢字表記（「日、火、陽」など）、品詞別（名詞「赤」、形容詞「赤い」）などいろいろな角度から見ることができるが、語根と派生語による語譜から見ることもできる。例えば、「あや（危）」を例に見ると、次の表のような単語家族がまとめられる²。そのうち、「あやし」と「あやしむ」は本研究の対象に關係する語対である。但し、「あやし」は文語で、現代語では「あやしい」という。

	語根	動詞	形容詞	副詞
	「あや（怪）」			
あ（危）	あゆ	あやむ	あやし（怪）	
		あやめる（殺）		
		あやまつ（過）		
		あやまる（誤・謝）		
		あやふ—あやぶる—あやぶまる	あやふし	あやふや
		あやす—あやしむ		
	あぶ	あぶぬ＝あぶながる	あぶなし	あぶなかし

図 1 語譜から見る単語家族の例

（西垣幸夫（1994：147）による）

現代日本語においては、後述の3で見ると、「明るい/明るむ、怪しい/怪しむ、卑しい/卑しむ、痛い/痛む、悲しい/悲しむ、苦しい/苦しむ、親しい/親しむ、白い/白む、楽しい/楽しむ」のような語も語譜から見れば単語家族である。

2.2 形態論から見る形容詞と派生動詞

動詞の形態論における語彙的な派生については、動詞の自他と派生動詞のことがよく取り上げられるが、「形容詞語根＋接辞」型動詞は派生動詞のカテゴリーの研究である。村木新次郎（1991：44）は形容詞語根による派生動詞について次の表のような語例を挙げたが、「形容詞語根＋む」型動詞の派生語は見られなかった³。そして、現代日本語の「～む」型動詞に関わる先行研究は管見では、松岡（2020）

² 西垣幸夫（1994）『日本語の語源 単語家族の考察』p.147 による。

³ 村木新次郎（1991）『日本語動詞の諸相』。

⁴及び頼(2024)⁵のほか、あまり見られなかったし、同語根の「X い」と「X む」の関係論述もないようである。

表 1 「形容詞語根＋接辞」による派生動詞

接尾辞	動詞	接尾辞	動詞
がる	ありたがる	じる	甘んじる
びる	古びる	ぶる	荒ぶる
まる	高まる	める	高める
やぐ	若やぐ	らぐ	安らぐ

(村木新次郎 (1991 : 44) による)

2.3 コロケーションから見る「X い」と「X む」

コロケーションとは言語表現同士の習慣的な共起関係である⁶。人々の発話は好きなことを自由に出されるように考えられるが、実際には自分の言葉で自由に話すというよりも、発話共同体で反復され、パターン化された言葉によって話すのである⁷。コーパス言語学は、高頻度の現象は重要であると言う前提に基づいているので、統計的な観点から、コロケーションを高頻度共起と定義された⁸。現代日本語研究におけるコロケーション研究例は 1970 年代から見られる。例えば、鈴木 (1973 : 10-11) ⁹は日英語の語彙構造の比較例として、「のむ」と「drink」を挙げているが、「のむ」は液体（水、茶など）、固体（錠剤の薬）、気体（たばこ）のどれにも使われるが、「drink」は液体（水、茶など）の場合にだけ用いられる。

田野村 (2010) はコロケーションを主題とし、日本語コーパスの分析によって得られるコロケーション情報が日本語の一般的な辞書ないしコロケーション辞典の作成にどのように生かせるかという応用的な関心に基づいて考察を行い、コロケーションにおける動詞述

⁴ 松岡洋子 (2020) 「動詞由来形容詞の派生をめぐる考察－接辞-*asi* と-*able*を中心に」。

⁵ 頼錦雀(2024)「コーパスによる動詞由来形容詞「～ましい」の一考察―「望ましい」を例に」。

⁶ 田野村忠温 (2010)「日本語コーパスとコロケーション―辞書記述への応用の可能性」p.2 による。

⁷ 南出康世・石川慎一郎監訳 (2006)『コーパス語彙意味論 語から句へ』pp.26-28、斎藤倫明・石井正彦 (2011)『これからの語彙論』p.281 を参照。

⁸ 南出康世・石川慎一郎監訳 (2006 : 38-39) による。

⁹ 鈴木孝夫 (1973)『ことばと文化』。

語の肯定、否定などの慣用的な表現にも注目した。鈴木・海野(2010)のような日本語学習者のコロケーション習得関係の研究例もある¹⁰。そして、台湾における日本語学研究、日本語教育学研究でもコロケーション関係の論述がある(表2を参照されたい)。但し、同語根の形容詞「Xい」と動詞「Xむ」の共起語に関わるものは観察されなかった。

表2 『台湾日本語文学期』と『台湾日語教育学期』における
コロケーション関係論文例

	出版 時間	紀要 番号	作者	論文名
台湾 日本語 文学期	2011	29	黄淑妙	「日中パラレルコーパス」の構築とコロケーションの研究—CTLJの比較を例に
	2018	43	頼錦雀	「柔軟」「やわらかい」「やわらか」「やわ」の考察—コロケーションを中心に
	2020	47	李毓清	身体部位詞「口」のコロケーションの考察—名詞と共起した場合
	2024	55	頼錦雀	コーパスによる動詞由来形容詞「～ましい」の一考察—「望ましい」を例に
	2025	56	頼錦雀	コーパスから見る「形容詞語幹+まる/める」の用法と意味—「高まる/高める」を中心に
	2025	57	頼錦雀	コーパスから見る「低まる」「低める」の用法と意味—「高まる」「高める」との比較を兼ねて
台湾 日語 教育学期	2015	24	楊錦昌	古典語由来の日本語連体詞に関する一考察—「イハユル」からの試み
	2015	24	李毓清	コーパスから見た「顔」「面」「フェース」—ジャンルとコロケーションを中心に
	2018	31	施列庭	Google n-gram コーパスに基づく「日本語コロケーション学習支援システム」の開発研究と評価
	2022	38	頼錦雀	語彙調査とコロケーションから見た「～ヤカ」型形容動詞—同根・同漢字表記形容詞との比較を兼ねて
	2022	39	頼錦雀	語彙調査から見た形容詞「Aい」と「Bい」をもつ2字漢字表記形容動詞「ABだ」—「危険だ」と「危ない」、「険しい」の比較を兼ねて

2.4 本研究の立場

田野村(2010: 1)で述べられているように、大規模なコーパスを使って初めて信頼性の高い調査・分析が可能になる言語現象の一つ

¹⁰ 鈴木綾乃・海野多枝(2010)「中級日本語学習者の名詞と動詞のコロケーション—学習者言語コーパスを用いた分析」。

にコロケーションがある¹¹。本研究では同語根をもつ形容詞「Xい」と動詞「Xむ」を例に、「現代日本語書き言葉均衡コーパス」(BCCWJ)、「昭和・平成書き言葉コーパス」(SHC)における「Xい」と「Xむ」の使い方、特に名詞とのコロケーションを考察し、それぞれの用法と格支配、意味の特徴及び異同点を明らかにしたい。

2011年に公開された日本・国立国語研究所『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(BCCWJ)は、現代日本語の書き言葉の全体像を把握するために構築されたコーパスであり、現在、日本語について入手可能な唯一の均衡コーパスである。書籍全般、雑誌全般、新聞、白書、ブログ、ネット掲示板、教科書、法律などのジャンルにまたがって1億430万語のデータを格納しているものである¹²。2023年に公開された「昭和・平成書き言葉コーパス」(SHC:Showa-Heisei Corpus of written Japanese)は、昭和・平成期の日本語を通時的に研究できるように設計したものであるが、1933年から2013年までの80年間で8年おきに雑誌・新聞・ベストセラー書籍を収録した通時的なコーパスであり、「日本語歴史コーパス」と「現代日本語書き言葉均衡コーパス」などの現代語コーパスの間をつなぐものである¹³。収録語数は、雑誌レジスター2740万語、ベストセラー書籍レジスター345万語、新聞レジスター256万語の、合計3340万語である。このようなコーパスによる考察は書き言葉における「Xい」と「Xむ」の用法と意味を理解するには有効性があると思われる。

考察手順は次のようである。

(イ) まず、日本語逆引き辞典と『現代雑誌 200 万字言語調査』と日本語教育のための『1 万語語彙分類表』における同語根の「Xい」と「Xむ」の語対を採集する。

(ロ) 『分類語彙表 増補改訂版』で同語根「Xい」と「Xむ」の

¹¹ 田野村忠温前掲文。

¹² 国語研コーパスポータル <https://clrd.ninjal.ac.jp/bccwj/index.html> による。2025年8月11日閲覧。

¹³ 和田太一 近藤明日子 小木曾智信 (2024) 「昭和・平成書き言葉コーパス」の語彙統計情報の公開」による。

語彙分類をする。

(ハ)『現代日本語書き言葉均衡コーパス』及びその検索エンジン「NINJAL-LWP for BCCWJ」で同語根「X い」と「X む」の使用頻度を調査する。

(ニ) ケーススタディの例として、「いたい」と「いたむ」の用法と意味を分析する。

但し、考察の際、漢字表記で書かれた語だけを対象にする、

3. 語彙的考察

本研究では語彙的考察として、日本語逆引き辞典と『現代雑誌 200 万字言語調査』、『1 万語語彙分類表』で同根の「X い」と「X む」の位置づけを調べた。

3.1 辞書と語彙調査の場合

表 3 『日本語逆引き辞典』における「X い」と「X む」

形容詞	動詞	形容詞	動詞
あかるい	あかるむ	したしい	したしむ
あやしい	あやしむ	しろい	しらむ
いたい	いたむ	すごい	すごむ
いやしい	いやしむ	たのしい	たのしむ
うとい	うとむ	なつかしい	なつかしむ
おしい	おしむ	にくい	にくむ
かなしい	かなしむ	ぬるい	ぬるむ
くるしい	くるしむ	はかない	はかなむ
くろい	くろむ	ゆるい	ゆるむ

(北原保雄 (1991) による)

単語の語頭ではなく、語の末尾の語構成要素によって、単語を仮名書きにしたものを逆にして五十音順に並べた逆引き辞典があるが、それは同語根をもつ「X い」と「X む」を採集するには役立つものである。北原 (1990) ¹⁴に掲載された現代日本語「～む」型動詞は 366 語 (異なり語数) あるが、そのうち、同語根をもつ形容詞「～い」と動詞「～む」の語対は表 3 のように 18 組ある。

¹⁴逆引き辞典には田島毓堂・丹羽一彌共編 (1978)『日本語尾音索引』(『岩波国語辞典』(第二版)・『新明解古語辞典』による。収録語数不詳)、北原保雄編 (1990)『日本語逆引き辞典』(国語辞典の多くを参照するが、常用語でありながら従来採録されなかった複合語も取り入れた。収録語数は約 7 万 1 千語ある)、岩波書店

『現代雑誌 200 万字言語調査』語彙表¹⁵にある 59222 語のうち、同語根をもつ形容詞「～い」と動詞「～む」は次の 10 組が採集された。

表 4 『現代雑誌 200 万字言語調査』

語彙表における「Xい」と「Xむ」

形容詞	動詞	形容詞	動詞
あおい	あおむ	くるしい	くるしむ
いたい	いたむ	したしい	したしむ
おいしい	おしむ	すごい	すごむ
かなしい	かなしむ	たのしい	たのしむ
くらい	くらむ	にくい	にくむ

北原保雄編（1990）『日本語逆引き辞典』と『現代雑誌 200 万字言語調査』語彙表における同語根をもつ形容詞「～い」と動詞「～む」の共通語対は次の表にある 8 組である。

表 5 『日本語逆引き辞典』と『現代雑誌 200 万字言語調査』
語彙表における「Xい」と「Xむ」の共通語対

形容詞	動詞	形容詞	動詞
いたい	いたむ	したしい	したしむ
おいしい	おしむ	すごい	すごむ
かなしい	かなしむ	たのしい	たのしむ
くるしい	くるしむ	にくい	にくむ

3.2 日本語教育のための語彙表の場合

日本語教育の観点から見れば、学習者の日本語力によって語彙指導を考える必要があるので、ここでは同語根をもつ形容詞「～い」と動詞「～む」の語対のレベルについて考察する。

日本・国際交流基金と日本語教育支援協会が共催する旧日本語能力試験（JLPT）では 1 級～4 級の級別が付く出題基準の語彙表が発

辞書編集部（1999）『逆引き広辞苑』（『広辞苑第 5 版』の全項目。約 230,000 項目収録）などがあるが、本研究では出版当時、新語や末尾の語構成要素を同じくする語を多く収録した北原保雄編（1990）『日本語逆引き辞典』によって同語根をもつ形容詞「～い」と動詞「～む」を調べた。

¹⁵ 『現代雑誌 200 万字言語調査』は日本・国立国語研究所で 1993－2005 年に実施されたものである。現代雑誌に現れる書き言葉の実態を明らかにするために、1994 年刊行の雑誌 70 誌を素材にした言語計量調査であるが、語彙表は 2017 年に公開された。詳しくは国立国語研究所研究資料室 HP (<https://rmr.ninjal.ac.jp/materials/fo0088/>) を参照されたい。

表された¹⁶が、2010年に試験が改定され、級別がN1～N5の5段階になった後、主催側から出題基準が出されていないし、各級別の語彙表も発表されなかった。よって、本研究では日本語 NAT-TEST・日本語学力テスト運営委員会で編著された『品詞別・1級～5級別 1万語語彙分類集』（2014新訂版）で形容詞「Xい」と動詞「Xむ」の級別を調べることにした。調査結果は次のように表示される。

表 6 JLPT における「Xい」と「Xむ」の級別

形容詞	級別	動詞	級別	形容詞	級別	動詞	級別
明るい	5	明るむ	—	黒い	5	黒む	—
怪しい	3	怪しむ	3	親しい	3	親しむ	1
痛い	5	痛む	3	白い	5	白む	—
痛い	5	傷む	1	凄い	4	凄む	—
痛い	5	悼む	1	楽しい	5	楽しむ	3
卑しい	1	卑しむ	—	懐かしい	3	懐かしむ	—
疎い	—	疎む	—	憎い	2	憎む	3
惜しい	3	惜しむ	1	温い	4	温む	—
悲しい	5	悲しむ	3	儚い	1	儚む	—
苦しい	4	苦しむ	3	緩い	3	緩む	1

（『品詞別・1級～5級別 1万語語彙分類集』による）

上の表を見て次のようなことが分かった。

- (A) 形容詞「Xい」18語のうち、5級語は6語、4級語は3語、3級語は5語、2級語は1語、1級語は2語、級外語は1語ある。日本語学習者にとって、半分は初級か中級の単語である。
- (B) 動詞「Xむ」は異なり語数が18あるが、「いたむ」は表記によって「痛む」「傷む」「悼む」のように分類され、延べ20語になった。
- (C) 形容詞「Xい」も動詞「Xむ」も級外語なのは「疎い/疎む」の1組である。
- (D) 形容詞「Xい」が級内語で動詞「Xむ」が級外語なのは「明るい/明るむ、卑しい/卑しむ、黒い/黒む、白い/白む、凄い/凄む、懐かしい/懐かしむ、温い/温む、儚い/儚む」の8組である。同語根形容詞と

¹⁶ 国際交流基金・財団法人日本国際教育協会編（2002）『日本語能力試験出題基準【改訂版】』を参照。

動詞の級別不一致の現象が浮き彫りになった。

(E) 動詞「Xむ」延べ 20 語のうち、級外語は 9 語、1 級語は 5 語、3 級語は 6 語ある。学習難易度が高いことが示されている。

(F) 形容詞「Xい」と動詞「Xむ」が同級語なのは「怪しい/怪しむ」の 1 組だけある。

(G) 形容詞「Xい」が下級語で動詞「Xむ」が上級語なのは「痛い/痛む・傷む・悼む、惜しい/惜しむ、哀しい/悲しむ、苦しい/苦しむ、親しい/親しむ、楽しい/楽しむ、緩い/緩む」の 7 組であるが、形容詞「Xい」が上級語で動詞「Xむ」が下級語なのは「憎い/憎む」の 1 組だけである¹⁷。動詞「Xむ」の多くは形容詞「Xい」より学習難易度が高いことが示されている。

3.3 語彙分類の場合

表 7 「Xい」「Xむ」の語彙分類

中項目	「Xい」型形容詞	中項目	「Xむ」型動詞
類	疎い	様相	緩む
存在	儂い	作用	緩む 傷む
様相	緩い	時間	明るむ
力	凄い	心	怪しむ、痛む、傷む、悼む、疎む、惜しむ、悲しむ、苦しむ、親しむ、凄む、楽しむ、懐かしむ、憎む、儂む
形	緩い	生活	楽しむ
量	温い	待遇	卑しむ、凄む
心	明るい、怪しい、痛い、惜しい、悲しい、苦しい、親しい、凄い、楽しい、懐かしい、憎い	自然	明るむ、黒む、白む
行為	卑しい、疎い、明るい	物質	温む
交わり	親しい	生命	痛む、傷む
待遇	温い		
経済	惜しい		
自然	明るい、黒い、白い		
物質	温い		

(『分類語彙表 増補改訂版』による)

本研究で採集された同語根をもつ形容詞「Xい」と動詞「Xむ」を『分類語彙表 増補改訂版』（国立国語研究所。2004）の意味分類で分けてみれば、次のようなことが分かる。形容詞「Xい」は「類、存在、様相、力、形、量、心、行為、交わり、待遇、経済、自然、

¹⁷ 4 級に分けられた旧日本語能力試験では「憎い」も「憎む」も 2 級語にされた。2010 年に新訂された日本語能力試験の級別 1～5 級あるが、日本語 NAT-TEST・日本語学力テスト運営委員会では「憎い」は 2 級、「憎む」は 3 級というように分類された。

物質」のように分類されるが、動詞「Xむ」は「様相、作用、時間、心、生活、待遇、自然、物質、生命」のような項目に分けられる。両方とも「心」項目の語が多い。「Xい」と「Xむ」の語対で比較した場合、語彙分類で所属項目が同じなのは「怪しい/怪しむ、悲しい/悲しむ、苦しい/苦しむ、黒い/黒む、白い/白む、懐かしい/懐かしむ、憎い/憎む」の7組、所属項目の一部が同じで一部が違ったのは「明るい/明るむ、痛い/痛む・傷む・悼む、惜しい/惜しむ、親しい/親しむ、凄しい/凄む、楽しい/楽しむ、温い/温む、緩い/緩む」の8組、所属項目が全く違うのは「卑しい/卑しむ、疎い/疎む、儂い/儂む」の3組である。同語根と言っても、動詞は活動、状態を表し、形容詞は性質や状態、感情を表す、という特徴は「Xい vs. Xむ」の場合でも明らかに表れている。

表 8 語彙分類から見る「Xい」と「Xむ」

中項目	形容詞	動詞	中項目
心、行為、自然	明るい	明るむ	自然、時間
心	怪しい	怪しむ	心
心	痛い	痛む、傷む、悼む	心
		傷む	作用
		痛む、傷む	生命
行為	卑しい	卑しむ	待遇
類、行為	疎い	疎む	心
心	惜しい	惜しむ	心
経済	惜しい		
心	悲しい	悲しむ	心
心	苦しい	苦しむ	心
自然	黒い	黒む	自然
心、交わり	親しい	親しむ	心
自然	白い	白む	自然
力、心	凄しい	凄む	心、待遇
心	楽しい	楽しむ	心、生活
心	懐かしい	懐かしむ	心
心	憎い	憎む	心
量、待遇、物質	温い	温む	物質
存在	儂い	儂む	心
様相、形	緩い	緩む	様相、作用

(『分類語彙表 増補改訂版』による)

4. 文法的考察

本節では連体修飾用法と文末述語用法及び格支配の角度から同語根の「Xい」と「Xむ」の文法機能について考える。

4.1 連体修飾用法と文末述語用法

「現代日本語書き言葉均衡コーパス」における「Xい」と「Xむ」の連体修飾用法「～＋名詞」及び文末述語用法「～。」「～た。」「～！」形式の用例数は図 2 のようになる。

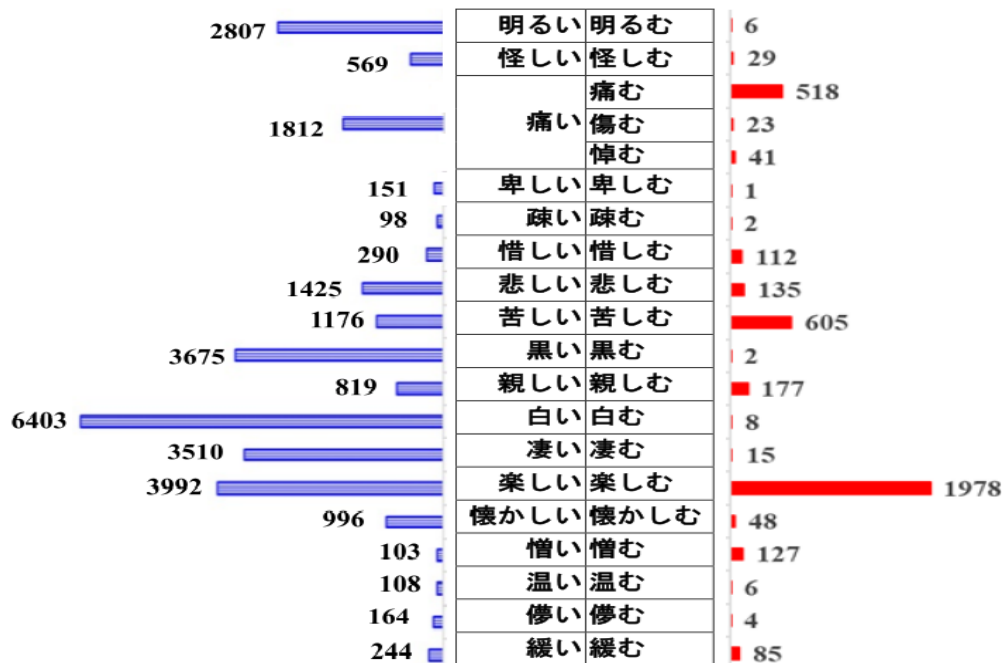


図 2 BCCWJ における「Xい」と「Xむ」の「～＋名詞」、「～。」「～た。」「～！」形式用例数

一般的に言えば、文における形容詞の主な機能は連体修飾で¹⁸、動詞の主な機能は述語であるが、同語根の「Xい」と「Xむ」の場合はどうなるのか、コーパスにおける用法で検証する。「現代日本語書き言葉均衡コーパス」(BCCWJ)における「Xい」と「Xむ」の連体修飾用法と述語用法は表 9 のようにまとめられる¹⁹。表 9 で見るように、「Xい」の各形容詞も「Xむ」の各動詞も連体修飾用法が観察された。

文末述語用法においては、「Xい」の各形容詞には用例が見られるが、「Xむ」の「卑しむ、疎む、黒む、白む、温む、儂む」には用例

¹⁸ 仁田 (1988) では形容詞は連体修飾用法が主な機能であると述べられている。

¹⁹ 連体修飾用法「Xい＋名詞」「Xむ＋名詞」の用例数は検索エンジン NINJAL-LWP for BCCWJ によるが、文末述語の用例数は検索エンジン中納言による。

が見られなかった。そして、文末述語用法「Xい。/Xかった。」と「Xむ。/Xんだ。」において、動詞の用例数が形容詞の用例数より多いのは「憎い(22例)/憎む(28例)、緩い(4例)/緩む(38例)」の組だけで、あとの組はすべて「Xい」の用例数が「Xむ」の用例数より多い。なお、「～！」の形式で感動詞に転生するか感動を表す用法においては、形容詞は「明るい、怪しい、痛い、惜しい、悲しい、苦しい、黒い、凄い、楽しい、懐かしい、憎い、温い」の用例が見られるが、動詞は僅か「苦しむ、親しむ、楽しむ」の用例しか見られなかった。例え語彙分類で同じ感情を表す「心」項目に属す「Xい」と「Xむ」でも用法が違うのである。これは語彙教育では単語を一つひとつ提示して指導する必要があることを示唆すると思われる。

表 9 BCCWJ における「Xい」と「Xむ」の用例数

形容詞「Xい」の用例数					動詞「Xむ」の用例数						合計
合計	Xい！	Xかった。	Xい。	Xい + 名詞	Xい	Xむ	Xむ + 名詞	Xむ。	Xんだ。	Xむ！	
2807	7	73	137	2590	明るい	明るむ	4	1	1	0	6
569	4	6	52	507	怪しい	怪しむ	24	0	5	0	29
1812	84	88	259	1381	痛い	痛む	306	90	122	0	518
						傷む	22	1	0	0	23
						悼む	34	2	5	0	41
151	0	1	2	148	卑しい	卑しむ	1	0	0	0	1
98	0	2	3	93	疎い	疎む	2	0	0	0	2
290	8	10	51	221	惜しい	惜しむ	88	6	18	0	112
1425	4	51	96	1274	悲しい	悲しむ	127	0	8	0	135
1176	6	50	92	1028	苦しい	苦しむ	508	40	56	1	605
3675	2	7	20	3646	黒い	黒む	2	0	0	0	2
819	0	12	8	799	親しい	親しむ	159	6	10	2	177
6403	0	25	59	6319	白い	白む	8	0	0	0	8
3510	182	57	241	3030	凄い	凄む	6	3	6	0	15
3992	61	214	368	3349	楽しい	楽しむ	1686	125	163	4	1978
996	17	21	91	867	懐かしい	懐かしむ	40	5	3	0	48
103	4	4	14	81	憎い	憎む	99	10	18	0	127
108	1	2	12	93	温い	温む	6	0	0	0	6
164	0	4	11	149	儂い	儂む	4	0	0	0	4
244	0	0	4	240	緩い	緩む	47	7	31	0	85

次の例（7～21）は「～！」の形で感動を表す用法である²⁰。

²⁰ 以下の用例は出典の作品名が付いているのは BCCWJ によるものである。

- (7) 携帯の画面の明かりより、月の光のほうがずっと明るい! (風見潤『月食屋敷幽霊事件』)
- (8) えびめし見た目は黒い! (Yahoo!ブログ 2008)
- (9) 平沼内閣は八月に、欧州情勢は複雑怪奇(ややこしく怪しい!)
と言って、やめてしまいました。(出雲井晶『昭和天皇』)
- (10) 若者たちがおもしろそうに笑いながら、見物している。「痛い、痛い!」店長は大袈裟に騒いだ。(森詠『砂の時計』)
- (11) もう少し、カバー力があるとうれしいです。惜しい! (Can Cam)
- (12) 好きなタレントさんが結婚した!悲しい! (Yahoo!ブログ 2008)
- (13) それには苦しみがともなう。「苦しい!」と言っては欲望の服を一枚脱ぐ。(加藤諦三『しくても意味のある人生』)
- (14) みるなり園長先生はさげんだ。すごい! (浜たかや『おばあちゃん宇宙へいく』)
- (15) 楽しい! 大学生活 この頃、大学生活が始まったのですが、すごく楽しかったです。(倉木麻衣『Myself music』)
- (16) 中澤 懐かしい! タクティクスを使っていますか? (中澤裕子・綾小路翔『改心』)
- (17) 後のシーンなんか、わざわざガラスの向こうから2人を撮って、金髪の方がこっちを向いて「あとはまかせたよ」的な終わり方なんですよねえ。憎い! (Yahoo!ブログ 2008)
- (18) 汁椀のふたを取ってささげる童鬼へ、「温い!」夢章は手加減なしに平手打ちをくわせる。前の日は「熱い」と言ってなぐられた。(高橋直樹『童鬼の剣』)
- (19) 「この問題でなぜそんなに意地を張るのか理解に苦しむ!」
(スーザン・スペンサー・ポール著 永幡みちこ訳『花嫁の持参金』)

(20) 「九州・山口の近代化産業遺産群」に親しむ！（広報ながさき）

(21) 親子のふれあいを楽しむ！（広報南アルプス）

「Xむ」には見られなかったが、「Xい」には「痛い！」（例 10）、
「惜しい！」（例 11）、「悲しい！」（例 12）、「苦しい！」（例 13）、
「すごい！」（例 14）、「楽しい！」（例 15）、「懐かしい！」（例 16）、
「憎い！」（例 17）、「温い！」（例 18）のように単文の形で形容詞から感動詞に転生した表現が見られる²¹。

4.2 格支配のパターン

言語表現同士の習慣的な共起関係はコロケーションというが、それは自立語の実質語の場合だけではなく、付属語の機能語のケースも見られる。格支配の角度から見れば、本研究の考察対象である形容詞「Xい」はよく主格「が」と共起する（例 22-39）が、対象格「に」（例 40-43）、相手格「と」（例 44）と共起することも観察される。

(22) 使った直後から肌が元気になり、これを使った翌日は肌が明る
るい！（山崎敦子 石川敦子『LEE(リー)』）

(23) そうですか、草加先生が怪しいんですか。（秋月涼介『月長石の魔犬』）

(24) 肩上部全体が痛いときに効果的です。（伝加代子『女性セブン』）

(25) 朝採りらしく、ナスについでトゲが痛い。（Yahoo!ブログ 2008）

(26) それによく考えると、かならずしもあの連中が卑しいわけではない。（安能務『中華帝国史』）

(27) ほかの人のためにつかう時間が惜しいという人は絶対結婚しては駄目。（田中澄江『叱り方の上手い親下手な親』）

²¹ 形容詞語幹から感動詞への転生について詳しくは頼錦雀(2018)「日本語における形容詞からの転成感動詞の考察—形容詞基本形を中心に」を参照されたい。

- (28) 笑いの世界の貧困化が悲しい。(富澤慶秀『「東京漫才」列伝
- (29) この病院の経営が苦しいことは、ぼくにもわかっていた。
(五木寛之『凍河』)
- (30) 今、あらためてページを繰ってみると、氏の髪が黒いのに驚く。(木之下晃『朝比奈隆』)
- (31) 坑道の中は外気よりいちだんと冷え、吐く息が白い。(内田康夫『渡伝説殺人事件』)
- (32) しかも宮廷内の閨閥がすごい。(河原敏明『美智子皇后』)
- (33) 阪神は先発が6人そろい、抑えの3投手がすごい。(京都新聞)
- (34) 板壁の民家が密集する風情ある家並みや、石畳の細い路地を歩くのが楽しい。(正岡浩二『旅の手帖』)
- (35) 数年前まで、子どもと自由研究をしたことが懐かしい。(広報まえばし)
- (36) たくさんのイラク人を殺した米軍が憎い。(安田純平『囚われのイラク』)
- (37) (うわ、冷たい手エやな、手エの冷たい女は心が温い、いうけど、そうかもしれへん) (田辺聖子『ジョゼと虎と魚たち』)
- (38) たそがれの街の灯がはかない路面電車で道後温泉駅に向かう。
(茜嶺治『『歴史紀行』海に見えるプラットホームから』)
- (39) 頭上の首都高速も右にカーブするが、こちらはカーブが緩いので、徐々に分かれていく。(川島令三『全国鉄道事情大研究』)
- (40) 陸軍と違って開明的であり海外情勢に明るいはずの海軍軍人がなぜドイツに心を寄せたのか。(半藤一利『歴史探偵昭和史をゆく』)
- (41) あの人(噂に聞くように) 金銭や女に卑しいわけがない
(後略) (中村紘子『チャイコフスキー・コンクール』。

SHC)

(42) 科学技術と世界情勢に疎い自治省の存在そのものが国益を損なっているとは、まさに「縦割り行政の弊害」の典型例といえよう。(宮川隆義「選挙で政治家名記入は日本だけ」。SHC)

(43) 大豆ほど私たち日本人に親しい食物はない。(松谷みよ子『松谷みよ子の本』)

(44) 末永は竹内と親しいらしく、すぐに携帯で連絡をとった。
(安東能明『強奪箱根駅伝』)

形容詞「Xい」と格助詞との共起は次のように整理される。

- (a) (名詞) が Xい。(主格が Xい。)
- (b) (名詞 1) が (名詞 2) が Xい。(主格が主格が Xい。)
- (c) (名詞 1) が (名詞 2) に Xい。(主格が対象格に Xい。)
- (d) (名詞 1) が (名詞 2) と Xい。(主格が相手格と Xい。)

属性形容詞(明るい、黒い、白い、温い)は主格を表す「が」と共起する。感覚形容詞と感情形容詞(痛い、惜しい、楽しいなど)は「(表現主) が (身体部位か表現主が感情を向かう物事) が Xい」の形式で「が」格と共起するが、一人称の表現主は省略されることもある(例 25、28、34-36 を参照されたい)。そして、「明るい」の比喻用法で理解対象を表す場合は対象格「に」と共起し、「親しい」相手を表す場合は相手格「と」と共起する。

一方、形容詞「Xい」に対応する動詞「Xむ」は次のような格助詞と共起する例文が観察された。

- (e) (名詞) が Xむ。(主格が Xむ。)
- (f) (名詞) が (名詞) を Xむ。(主格が対象を Xむ。)
- (g) (名詞 1) が (名詞 2) と Xむ。(主格が相手と Xむ。)
- (h) (名詞 1) が (名詞 2) に Xむ。(主格が対象に Xむ。)

物事の状態を表す「明らむ、白む、温む、傷む」は「(主格)が Xむ。」の文型で用いられる(例 45-48)。表現主の感覚か状態を表す「痛む、緩む」は「(主格)が Xむ。」の文型で用いられる(例 49-50)が、表現主が省略されて、身体部位名か表現主の精神状態、身体状態が主格になり、「が」で表される。表現主が相手と行為を行う「親

しむ」は「（表現主）が（相手）と親しむ」の文型で使われる（例 51）。そして、表現主が対象に行為を行う「親しむ、凄む」は「（表現主）が（対象）に親しむ/凄む」の文型で用いられる（例 52）。但し、「凄む」の場合、対象格「に」がよく略される（例 53-54）。感情を表す「怪しむ、悼む、卑しむ、疎い、惜しむ、悲しむ、楽しむ、憎む、儂む」は「（表現主）が（対象）をXむ」の文型で用いられる（例 55-63）。「Xい」と同じように、「Xむ」の表現主は主題化して「は」になるか省略されることが多い。

(45) 東の空が明らむ頃には、正憲は既に朝食を摂って出発準備を終わっていた。（能島龍三『風の地平』）

(46) その夜の窓々の灯は外気が白むまで消えることはなかった。
（上家富靖『一番大きなお星さん』）

(47) 水がぬるむ季節になってからがいい。（向山正家『天保山夢の川さらえ』）

(48) たまにアイロンをかけたりはしているのですが、生地が傷むし何か良い方法はありませんか？（Yahoo!知恵袋 2005）

(49) 胃潰瘍にかかれば、お腹がキリキリと痛む。（奈良信雄『名医があかす「病気のたどり方」事典』）

(50) 力が抜けて体の緊張が緩む、これがリラックスです。（浦野晴美『出産&新生児大百科』）

(51) 本と親しむことができる休日がますます増えるように、淀川図書館は、4月から祝日も開館します。（区民だより よどがわ）

(52) 国学院大学在学中に短歌研究会に所属し、作歌に親しむ。
（神戸新聞）

(53) げひんな声でダニがすごむ。（舟崎克彦『ハナクソ太郎のぼうけん』）

(54) 足音が近づくや丑寅らが、威勢よく飛び込んで来て、「サンピンが来たろう」と、丑寅が凄む。（都築政昭『黒澤明と『用心棒』』）

- (55) だが、神戸からの定期船には、悠之介の行為を怪しむような者はいなかった。（風野真知雄『ニコライ盗撮』）
- (56) そして南西の隅に、桜田門志士を悼む、自然石の歌碑が立つ。（池田亮二『お墓曼荼羅』）
- (57) 一万座の中で安倍一族を卑しむなど、もっての外の言い過ぎ光貞は大掾に詫びるがいい。（杉本苑子『悲劇の風雲児』）
- (58) 兄たちの自分を疎む気持ち、じかに伝わってくるからだ。（千野隆司『冬花火』）
- (59) 旅立前夜、春月朧ろなる下に愛人を呼び出し暫くの別れを惜しむ。（山田風太郎『山田風太郎疾風迅雷書簡集』）
- (60) 流す血の色も同じならば、死を悲しむ家族があるのも皆同じじゃ。（楡周平『青狼記』）
- (61) 昨日の事を反芻しながらゆっくりと朝食を楽しむ。（田中昌二朗『より高く、より遠く、未知を求めて』）
- (62) 感染経路を憎むのではなく、病気をこそ憎むべきではないでしょうか。（南定四郎『エイズ危機』）
- (63) 岡部は、娘の死を悲しみ、その命を憐む母親の気持ちを汲み（後略）（山崎豊子『沈まぬ太陽』）

なお、この度の BCCWJ の調査では例文が観察されなかったが、次のような、引用文を組み込む文型もある（作例 64-66 を参照）。

(i) (名詞 1) が (名詞 2) に (句) と X む。

(主格) が (対象) に (引用文) と X む。

(64) 彼は老いた猫の姿に、もう長くはないのだ、と痛んだ。

(65) 姉は自分の失敗作に、頑張ったのに、と悲しんだ。

(66) 母は庭の花に、美しく咲いた、と楽しんだ。

このように形容詞「Xい」も動詞「Xむ」も格助詞「が」「を」「に」「と」を取るが、語によって格支配の状況が違うので日本語教育現場ではそれぞれの共起格を丁寧に指導する工夫が必要である。

ちなみに、「黒む」は「くろみて高き櫨の木の森」（『日本国語大辞典 第二版』「くろむ」項目）のような文語の例があるが、本研究

の考察では現代語の用例が観察されなかった。

5. ケーススタディー「いたい/いたむ」の文型と意味

語彙的考察の節では「Xい/Xむ」の語彙分類をしてそれぞれの所属意味項目を分析したが、本節ではケーススタディーの例として、「いたい/いたむ」の文型を調査し、意味を分析する。「いたい」の漢字表記は普通、「痛い」だけであるが、それに対応する動詞「いたむ」には「痛む/傷む/悼む」と三通りの表記がある。これはほかの「Xい/Xむ」と違うので、本稿では例として更に深く考察したい。分析の際、現代日本語書き言葉均衡コーパスから採集した「痛い」と「痛む、傷む、悼む」の基本形と連体形を対象にする。

5.1 「いたい/いたむ」の文型

本節では考察対象の独立成分としての用法及び考察対象と名詞が用いられる用法を中心に「いたい」と「いたむ」の文型について考察する。

5.1.1 「いたい」の文型

ここでは漢字表記が付く「痛い」の基本形と連体形の文型について考える。

(A) 感覚的な痛み

- (a) 痛い。 (b) 痛い！ (c) 痛っ！
- (d) 痛い、痛い。 (e) 痛い+終助詞。(痛いよ)
- (f) 感動詞+痛い+終助詞。(ああ〜ん、痛いよ。)
- (g) (身体部位名) が痛い。(胃が痛い。)
- (h) (症状) が痛い。(带状疱疹が痛い。陣痛が痛い。)
- (i) (物事) が/は (身体部位名) に痛い。(太陽が目痛い。)
- (j) 痛い+名詞。(痛い体験。痛いところ。)

(B) 精神的な痛み

- (a) 目/瞳に痛い。(腋の剃り痕の青さが、緒形の瞳に痛い。)
- (b) 耳に痛い。(耳に痛い言葉) (c) 痛い目に遭う。
- (d) 痛い程分かる/理解する。 (e) 痛いところを突く。

(f) 痛い思いをする。

(C) 感覚的にも精神的にも慣用化した用法

(a) 痛いことは痛い。

(b) 痛いものは痛い。

(c) 痛い痛い、……

「痛い」が感覚的な痛みを表す文型の多くは単文である。後ろに「！」と共起したり、前に感動詞「あ、ああ、あっ、うう、おお」などと共起したりすることもある。そして、「痛い」が重複して使われることもある。また、独立成分で感動詞に転生することも観察されるが、そういう場合は語尾の「い」が表情音の促音「っ」になって、感動詞に転生されることもあれば、語尾「い」が延ばされることもある²²。例えば、「痛っ」、「痛いいい〜」。身体部位が用いられる場合は「(身体部位名)が痛い」(頭が痛い。)、 「(感覚を引き起こす物事)が/は(身体部位名)に痛い」(ブラシが髪に痛い。太陽が目に痛い。)のように用いられる。「痛い」が精神的な痛みを表す文型には、視覚的な「痛い目に遭う」、聴覚的な「耳に痛い」と心理的な「痛い目に遭う」、「痛い程分かる」、「痛いところを突く/突かれる」、「痛い思い(想い)をする」のような用法が見られる。感覚的にも精神的にも慣用化した用法には「痛い」の重複形で「痛いことは痛い」、「痛いものは痛い」、「痛い痛い、……」のように用いられる。

5.1.2 「いたむ」の文型

「いたむ」は肉体的痛みも精神的痛みも「(名詞)が/はいたむ」の形で用いられる。

(A) 感覚的な痛み

(身体部位名/傷)が/は痛む。(身体は痛む。古傷が痛む。)

(B) 精神的な痛み

(身体部位名)が/は痛む。(胸が痛む。心は痛む。)

(物事)(身体部位名)に痛む。(繃帯の白さが眼に痛む。)

(C) 人体の外形の一部や物事が損なう状態か食べ物が腐る。

²² 「形容詞語幹+っ」が感動詞の転生することについて詳しくは頼錦雀(2015)「日本語形容詞語幹+っ」についての考察」を参照されたい。

(人体の外形や物事) が/は痛む/傷む。

(髪が傷む。 苺が傷む。 家が/は傷む。)

(D) 死者がなくなった物事を悲しむ。(父/死者/市の崩壊を悼む。)

(A) (B) は「痛む」、(C) は「痛む/傷む」、(D) は「悼む」というように、意味によって漢字表記が違う。

5.1.3 「いたい」と「いたむ」の文型比較

「いたい」にも「いたむ」にも「(名詞) が/は～」の文型で肉体的な痛みと精神的な痛みを表す。形容詞「いたい」は単文で直接表現主の感覚か感情を表す感動詞としての使い方があるが、「いたむ」には見られない。そして、「痛い程～」のような度合いが大きいことを表す文型も「いたむ」には見られない。一方、「食物が腐る」意味を表す文型は「いたむ」にあって、「いたい」には観察されなかった。

5.2 「いたい」「いたむ」の意味分析

5.2.1 「いたい」の意味

まず、「痛い」の共起名詞を見てみよう。「痛い」にかかる後文脈の共起名詞には実質名詞も形式名詞もある。実質名詞には「しっぺ返し、デットボ、頭、腰、足、にきび、注射、言葉」のような感覚に関わる語もあれば、「思い/想い、感じ、記憶、体験、お話、言葉、1敗、負け越し」のような心理感覚に関する語もある。そして、状況を表す名詞「目、め、時、とき」も観察された。実際の名詞用例数を見ると、用例件数が10回以上の名詞は「目(159回)、ところ(93回)、思い(83回)、とき(29回)、時(29回)、問題(22回)、もの(19回)、出費(14回)、め(11回)、人(10回)、所(10回)、感じ(10回)」である。

それに対して、「痛い」にかかる前文脈の共起名詞には時間名詞「時」、場所名詞「どこ、左側、当たり」、心理に関わる「心、淋しさ」、症状名詞「口内炎、陣痛」、痛感を引き起こす原因の名詞「(剃り跡の) 青さ、注射、トゲ」などもあるが、多くは身体部位名である。用例数で見ると、件数が10回以上あるのは「頭(198回)、腰(63回)、喉(52回)、お腹(50回)、足(46回)、胃(36回)、耳

(28 回)、胸 (27 回)、おなか (25 回)、目 (26 回)、歯 (23 回)、膝 (22 回)、肩 (21 回)、首 (19 回)、どこ (19 回)、喉 (18 回)、背中 (17 回)、腹 (15 回)、腕 (14 回)、体 (13 回)、手 (12 回)、注射 (11 回) である。

共起名詞から見ると、「痛い」は多義語である。「頭が痛い」のように「肉体的な痛みを感じる」のはその基本義である。そして、「肉体的な痛みを感じる」のがメトニミーによって「注射が痛い」のように、何かの原因で肉体の痛みを感じるように意味拡張する。また、「出費が痛い」、「耳に痛い」のように、肉体的な痛みからメトニミーによって精神的苦痛に意味変化する。さらに、精神的な苦痛からメトニミーによって度合の大きいことを表す意味になる。例えば、「痛い程分かる/理解できる。」など。

5.2.2 「いたむ」の意味

ここでは共起名詞から「いたむ」の意味を考える。まず、「痛む」にかかる後文脈の名詞は 132 語観察された。多くは身体部位名である。用例の件数では、1 回しか使われなかった名詞 45 語の外、「足 (15 回)、場合 (12 回)、思い (9 回)、体 (6 回)、肩 (5 回)、程度 (5 回)、頭 (5 回)、時 (4 回)、部位 (4 回)、人 (2 回)、身体 (2 回)、事 (2 回)、背骨 (2 回)、時期 (2 回)、胸 (2 回)、部分 (2 回)、場所 (2 回)、歯 (2 回)、腕 (2 回)、感じ (2 回)」がある。一方、「痛む」にかかる前文脈の名詞は 79 語観察されたが、多くは身体部位名である。用例数で見ると、1 件しかないのは 40 語ある。そのほか、「胸 (13 回)、傷 (6 回)、心 (5 回)、胃 (3 回)、体 (2 回)、痛み (2 回)、腰 (2 回)、関節 (2 回)、髪 (2 回)、頭の芯 (2 回)」が見られる。

「傷む」の後文脈の共起名詞は延べ 19 語観察された。そのうち、「こと、たび、ため、の、はず」形式名詞である。実質名詞は「原因 (1 回)、寒さ (1 回)、椿 (1 回)、人 (1 回)、出来事 (1 回)、前 (2 回)」である。前文脈における「傷む」の共起名詞は延べ 37 語あるが、「髪」は 5 回、「モーター、生地、家」はそれぞれ 2 回ある。

「油絵、椅子、苺、腕、絵、エンジン、お尻の穴、株、カム、カラーリング、革手袋、茎葉、心、仕上げ剤、芝、花卉、障子、食品名、製本、ツボミ、道路、トリートメント、内皮細胞、葉、床、桃」はそれぞれ1回ある。人間の身体部位名「お尻の穴、内皮細胞」を除いては物を指し示す語である。

後文脈における「悼む」の共起名詞は40語採集された。「気持ち(6回)、人(4回)、ため(3回)、あまり(2回)、声(2回)、こと(2回)、人名(2回)、者(2回)」の外に、「雨、詠歌、気、記念碑、こころ、時間、際、集会、背中、表現、雰囲気、文章、法要、ミサ、優しさ、様子、桜桃祭」はそれぞれ1回見られる。前文脈における「悼む」の共起名詞は延べ53語採集された。件数から見れば、「死(20回)、人名(9回)、死者(5回)、兵士(3回)、犠牲者(3回)、恋人(2回)」のほか、「叫び、市の崩壊、死去、自殺者、宿命、父、年月、の、不幸、霊、私」は1回ずつある。このように、「悼む」の共起名詞は死に関わる語が多い。

漢字表記を見ても、共起名詞を見ても分かるように、「いたむ」は多義語である。その基本義は肉体に痛みを感じることである(頭がずきずき痛む)。基本義からメトニミーによって精神的に苦痛を感じるように意味変化する(例:私は心が痛む)。次はメトニミーによって何かのものが損なわれることを表すようになる(例:家/生地が傷む)。なお、髪や肌、爪などが健康でない状態になる意味を表す(例:髪が痛む)。そして食べ物が腐ることを表すこともある(例:桃/苺が傷む)。また、「悼む」と表記して死を悲しむことに意味変化する(例:死者/犠牲者/人の死を悼む)。

5.2.3 「いたい」と「いたむ」の意味比較

以上考察した「いたい」と「いたむ」の意味ネットワークは次のように図示される。身体的な痛みを表すことは両語にあるが、「いたい」における「度合が大きい」意味は「いたむ」にはない。それに対して、「いたむ」における「身体部位が健康でない状態」、「物が損なわれる」、「食物が腐る」という意味は「いたい」には観察されな

かった。語根が同じでも「いたい」と「いたむ」の意味が違うのである。

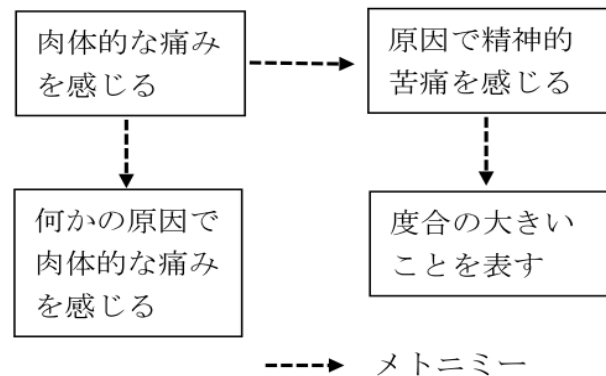


図3 「いたい」の意味ネットワーク

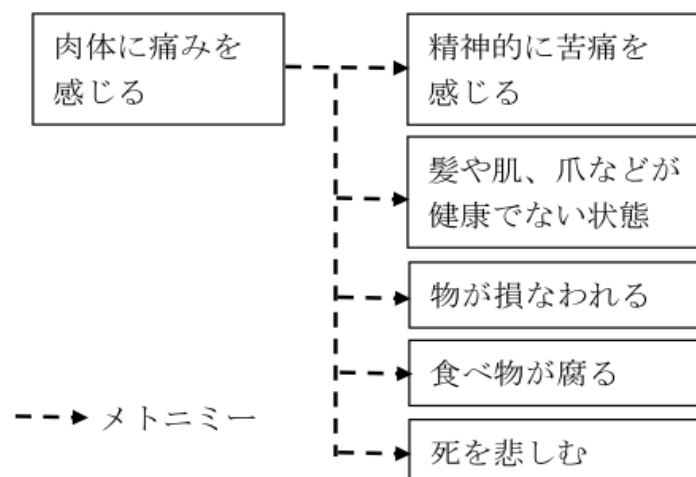


図4 「いたむ」の意味ネットワーク

6. おわりに

同じ語根をもつ「Xい」「Xむ」は語によって文法的にも意味的にも違うことがある。また、コロケーションの視点から見た場合、「Xい」「Xむ」の格支配も共起名詞もいろいろ異同点が見られる。それは現象や状態を表す形容詞と作用や動作を表す動詞との違いだ、と簡単には説明できない。「いたい」「いたむ」のケーススタディで分かるように、言葉の理解は単語を一つひとつ丁寧にすべきである。

また、教育的に見た場合、「Xい/Xむ」の語対における形容詞と動詞の級別が異なることもある。よって、日本語教育の初中級段階でまず「Xい」を導入したあと、例を挙げながらその単語家族の一つである「Xむ」を少しずつ指導したほうが良いと思われる。勿論、教育では言語形式の指導だけではなく、感情指導も重要なので、感情を表す「Xい」「Xむ」の例を利活用したら効果が上がるだろう。

このような日本語学における同語根の形容詞「Xい」と動詞「Xむ」の基礎研究は日本語教育指導に役立つことができれば幸いである。

〈付記〉

本論文は2025年度「國家科學及技術委員會」助成の研究計画「コーパスから見る同語根をもつ形容詞「Xい」と動詞「Xむ」の比較」の研究成果の一部である。匿名の査読者から有益なご意見をいただいた。深謝を申し上げたい。

参考資料

北原保雄（2001）『日本国語大辞典 第二版』、東京：小学館
新潮社（1995）『新潮文庫の100冊 CD-ROM版』東京：新潮社
大連外国語学院編集(1982)『新日漢辞典』コンパクト版、東京：東方書店
陳伯陶(1992)『新時代日漢辭典』台北：大新書局
劉元孝主編(1989)『永大當代日華辭典』台北：永大書局
現代日本語書き言葉均衡コーパス

<https://chunagon.ninjal.ac.jp/bccwj-nt/search>

国語研コーパスポータル <https://clrd.ninjal.ac.jp/bccwj//index.html>

昭和・平成書き言葉コーパス <https://clrd.ninjal.ac.jp/shc/>

NINJAL-LWP for BCCWJ(NLB) <https://nlb.ninjal.ac.jp/>

参考文献

国際交流基金、財団法人日本国際教育協会・編（2002）『日本語能力

- 試験出題基準【改訂版】』東京：凡人社、2002
- 斎藤倫明・石井正彦（2011）『これからの語彙論』東京：ひつじ書房
- 鈴木綾乃・海野多枝（2010）「中級日本語学習者の名詞と動詞のコロケーション—学習者言語コーパスを用いた分析」『2010 世界日本語教育大会予稿集』、台北：台湾日本語教育学会、No.1191
- 鈴木孝夫（1973）『ことばと文化』東京：岩波書店
- 田野村忠温（2010）「日本語コーパストコロケーション—辞書記述への応用の可能性」『言語研究』138、京都：日本言語学会、pp.1-23
- 西垣幸夫（1994）『日本語の語源 単語家族の考察』東京：近代文藝社
- 仁田義雄（1998）「日本語文法における形容詞」『言語』27-3、東京：大修館書店、pp.26-35
- マイケル・スタッブズ著 南出康世・石川慎一郎監訳（2006）『コーパス語彙意味論 語から句へ』東京：研究社
- 松岡洋子（2020）「動詞由来形容詞の派生をめぐる考察—接辞 *-asi* と *-able* を中心に」『慶應義塾大学言語文化研究所紀要』51、東京：慶應義塾大学言語文化研究所、pp.47-63
- 村木新次郎（1991）『日本語動詞の諸相』埼玉：ひつじ書房
- 頼錦雀(2015)「「日本語形容詞語幹+っ」についての考察」『台湾日本語文學報』第 37 号、台北：台湾日本語文學會、pp.155-179
- 頼錦雀(2018)「日本語における形容詞からの転成感動詞の考察—形容詞基本形を中心に」『台湾日語教育學報』31、台北：台湾日語教教育學會、pp.149-171
- 頼錦雀(2024)「コーパスによる動詞由来形容詞「～ましい」の一考察—「望ましい」を例に」『台湾日本語文學報』55、台北：台湾日本語文學會、pp.19-48
- 和田太一・近藤明日子・小木曾智信（2024）「「昭和・平成書き言葉コーパス」の語彙統計情報の公開」『言語処理学会第 30 回年次大会発表論文集』京都：言語処理学会、pp.177-181